10月4日は 陶器の日
Webサイト▶ http://www.yakimono.or.jp
ツイッター▶ @toukinohi

昭和28年8月14日第三種郵便物認可
発行所 陶業時報社
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-12-14
TEL 03-4455-5026 FAX 03-6745-9086
E-mail：info@togyojiho.com
Web：http://www.togyojiho.com
郵便振替口座 東京 1－183071
発行日 毎月1日
購読料 年間12,000円（税別）

陶業時報
THE TOGYO JIHO

2019年（令和元年）
8月1日
木曜日
第1879号

夏季 2019 特集

侮れない訳語の課題

本当に伝わる英訳を考察

東京五輪の開催まであと一年に迫り、政府は開催に向けた運営に、マスコミはキャンペーンなどに一気に動き始めた。国民五輪はスポーツの祭典ながら、日本の魅力や文化の魅力を世界へ発信する必要があるこの好機会にもあるこの好機を最大限に生かすためには、外国人に伝わる情報を発信する必要があるが、英訳が疎かにされていたり、英訳されていても一貫性に欠けたり、間違いがあったりと、発信する情報の品質に大きな課題があるのが現状だ。ここでは、陶磁器業界に向ける英訳の課題を掘り下げるとともに、それに対して始まっている取り組みを紹介する。

「陶器」をどう訳すか？

日・英で異なる分類基準

日本の陶磁器は、縄文時代から1万年以上の歴史を経て独自の文化が育まれてきた。このような他国にはない文化を外国人に正しく理解してもらうためには、「工芸」「陶器」「磁器」などの日本語の表記を正しく翻訳することが必要だ。

「工芸英訳ガイドライン」の表紙

一般社団法人 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン 2018年版

うたためには、丁寧で一貫性のある翻訳による情報発信が非常に重要となる。ところが各方面から出されている英訳された情報を見ると、一貫性がないばかりでなく、誤解を招きかねない表現も理解してもらえるかの疑わしい英文に出会うこともあるプロの翻訳者による正しい英語であっても、文化への理解がなどしっかり伝わっていないと、専門用語の理解が不足していたりすると、読み手に間違って伝わってしまいかねず、油断は禁物だ。

陶磁器業界の英訳では、極めて基本的なところに落とし穴がある。例えば、陶器という言葉をどう英訳すべきか、明確な答えられるだろうか。「pottery」と英訳しているのなら、すぐにでも改めるべきかもしれない。「陶器」という言葉を和英辞書で引くと、「pottery」「earthenware」「ceramics」「china」「wares」「crockery」「earthenware」「ceramics」「pottery」「ceramics」などと書かれており、もはるとれを使っていいわけがなくなる。

これは「英単語の分類基準が日本語とは異なることや、それぞれの単語に広義／狭義があり、「陶器」や「陶磁器」に対する英単語が存在しないために起こる。加えて、「pottery」や「earthenware」などの言葉でも大差ないということはなく、それぞれ「陶器」「磁器」「炉器」などの日本語ルールとして陶磁器業界では「Minoware」「Oyaki」などと、慣用的な例を提示して説明している。実際、英語圏の人にとって「pottery」は、「ろくろ」などと書かれており、ろくろでものづくりしたいわゆるものづくりのイメージがあるということを念頭に置いて誤解を考えるべきだろう。

では、土ものとしての「陶器」はどのように英訳すべきだろうか。「陶器」は、「earthenware」「土ものづくり」と英訳するのが一般的となっている。

残る「磁器」については、その特性を一語で意味する英単語がないとされている。「磁器」は、「porcelain」「ceramics」「china」「wares」「crockery」「earthenware」「ceramics」「pottery」「ceramics」などと書かれており、ろくろでものづくりしたいわゆるものづくりのイメージがあるということを念頭に置いて誤解を考えるべきだろう。

「陶器」は、「earthenware」「土ものづくり」と説明していて、他の文献では異なる表記となっている。

「磁器」は、「porcelain」「ceramics」の中でも最高級品とされている。「磁器」は、「ceramics」「pottery」「ceramics」などと書かれており、ろくろでものづくりしたいわゆるものづくりのイメージがあるということを念頭に置いて誤解を考えるべきだろう。

「磁器」は、「porcelain」「ceramics」の中でも最高級品とされている。「磁器」は、「porcelain」「ceramics」「pottery」「ceramics」などと書かれており、ろくろでものづくりしたいわゆるものづくりのイメージがあるということを念頭に置いて誤解を考えるべきだろう。

「陶器」は、「earthenware」「土ものづくり」と説明していて、他の文献では異なる表記となっている